

平成30年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立双葉西小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／理科に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語、算数の「知識」をみるA問題の平均正答率は全国に比べてやや高い結果でした。国語、算数の「活用」の力をみるB問題と理科は一定の定着がみられますが、平均正答率は全国に比べてやや低い結果でした。
- ・国語では、「言語についての知識・理解・技能」が全国の平均正答率を上回っており、授業やショートタイムの取り組みの成果がみられます。一方で、ふだん使い慣れていない漢字の活用が十分とはいえない傾向がみられます。また、「目的や意図に応じて書く」ことや、「目的に応じて読む」ことに課題がみられます。
- ・算数では、図形に関する知識・理解に課題がみられます。また、複数の情報を関連づけて、論理的に考察し、数学的に表現する力が十分とはいえない傾向がみられます。
- ・理科では、自然事象についての知識・理解が全国の平均正答率を上回る結果でした。一方、「明らかにしたいことを意識しながら、観察・実験に取り組む力」に課題がみられます。また、科学的な言葉や概念の理解が曖昧な傾向がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目

「自分には、よいところがあると思いますか」については、高い数値を示しています。また、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」については、たいへん高い数値を示しています。正しい生活リズム、集団活動や学習活動への意欲ややりがいなど、多数の項目において良い傾向がみとめられました。特に、地域との関わりについてたいへん高い数値を示しているのは、コミュニティ・スクールの成果と思われる。

- ・課題となる項目

「将来の夢や目標を持っていますか」については、当てはまるとした児童の割合が低いです。学校の授業時間以外の1日当たりの読書時間が、全国平均に比べて少ない傾向があります。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・学習のルールを整え、子どもたちが学習に集中できる授業づくりに継続して取り組みます。
- ・ショートタイムなどを利用して基礎、基本の習得に向けた取組を継続します。
- ・日常的に文章を読んだり、短文作りに取り組んだりします。また、話し合わせたり、考えを書かせたりしながら読みを深めていく授業づくりをします。
- ・漢字の学習では、日常的に文章の中で使う指導を継続して行います。
- ・算数では、数直線、絵や図、数式等を用いて答えを導き、言語を使って自分の考えを表現できる時間をつくります。
- ・理科では、授業における様々な場面で実験の目的を意識させます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・県配布の「家庭学習のすすめ」や本校の「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習の習慣づけと繰り返し練習による定着を図り、お子さんの自主的な学習への意識が高まるよう、チェックや励ましの声かけなどにご協力をお願いします。
- ・お子さんの音読を聞いたり、親子でいろいろな本を読んだりする機会を増やし、ぜひ一緒に読書を楽しみましょう。
- ・生活リズムを整え、ゲームやテレビ、スマホ等を使う時間のルールを決めて守らせましょう。
- ・その日の学校での出来事や勉強したことなどについて、親子で会話する時間をとりましょう。